指導上の注意点

●二五四ページ

問 ⊙「離さないでいるだけの強さ」（下 10 行目）とは、どのようなものか。

答 人魚を離さないことと引き換えに、他者や社会とのつながりを絶ち、人間らしさを喪失してまで人魚と一緒に居続けることを恐れない強さ。

語句の研究

●二五四ページ

上 2 桜はすっかり散っていた。 時間の経過、季節の移り変わりを表わす。桜が見せた人魚という幻覚もすっかり無くなっている。

キー・ポイント　魅入られた　「魅入る」は執念をかけること。多く受け身の形で、取り付かれること、強い魅力に惹きつけられ、心を奪われること。「人魚、なんだったんだろう。」という「わたし」の問に対する答えである。つまり人魚とは、何かに魅入られることの象徴だということである。この作品は二人が人魚に執着する、魅了される物語であり、また、執着や魅了という気持ちそのものを描いた物語であるとも言えよう。

下 1 桜が散る様子ばかりを克明に覚えているのだった。 人魚ではなく桜を覚えているということからも、全ては桜がもたらした幻想であったとも読める。

注意する語句

魅入る…執念深くとりつく。心を奪う。（＊で用例を示した）

＊彼は悪魔に魅入られた。